

対象国の条件:

研修コース番号:201984772-J002

案件番号:201984772

主分野課題:都市開発・地域開発/地理情報

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

国家測量・地図作成機関を対象に、地理空間情報の整備・活用に不可欠な国家基準点について自国に適した管理のあり方とその利活用方策を策定できる人材の育成を目指す研修。衛星測位の方法を習得し、日本におけるGNSS連続観測システム（測位衛星を使った測量のための基準点網）の利活用状況を理解し、各国の状況にあった国家基準点の管理手法や活用方法に関する業務改善が行えるようにする。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 自国に適した国家基準点の管理のあり方とその利活用方策を提案し、その実現にむけた計画を策定できる。</p> <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 測位衛星を利用した測量方法を説明できる 2. GNSS連続観測システムを活用した測量方法を説明できる 3. GNSS連続観測システムを活用した地理空間情報の整備方法を説明できる 4. 世界測地系の導入・活用方法が説明できる 5. 習得した知見を基に、適切な基準点管理のあり方及び利活用方策の業務改善案を考案できる 	<p>【対象組織】 国家測量機関もしくは火山・地震観測研究機関</p> <p>【対象人材】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国家測量機関もしくは火山・地震観測研究機関の技術系管理職員又は同等な職にある者 2. 大卒または相当以上の学識がある者 3. 測地分野で7年以上の経験を有する者 4. 十分な英語力（スピーキング、ライティング）を持つ者。 5. （コース開始月である）2019年5月1日時点で、年齢は29歳から45歳であること。 	
<p>内 容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <ol style="list-style-type: none"> (1) 基準点測量概論（基準点測量・水準測量等）、測量機器（検定・機能等） (2) 日本の基準点体系（GNSS連続観測点、三角点の関係） (3) GNSS衛星概論（GPS、GLONASS、準天頂衛星等） 2. <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本のGNSS連続観測システムの概要 (2) GNSS連続観測システムのデータを用いた基準点測量 (3) 基準点測量実習 観測・解析 (4) 国家基準点の成果の管理・提供およびGNSS連続観測点観測データの提供手法 3. <ol style="list-style-type: none"> (1) 日本におけるGNSS連続観測点観測データの活用事例（道路現況レーザ計測（MMS） (2) 空中三角測量（GPS/IMU）等及びGNSS連続観測システムの今後の展望） 4. <ol style="list-style-type: none"> (1) 測地系の変換（測地系の変換パラメータの算出、世界測地系への移行のメリット） 5. <ol style="list-style-type: none"> (1) 自国の基準点の管理・活用の現状と問題点の発表 (2) 自国に適した基準点の管理のあり方及び利活用施策、その実施計画の作成および発表 	<p>本邦研修期間</p>	<p>2019/5/26～2019/7/6</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>社会基盤・平和構築部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA筑波（研修業務）</p>
	<p>関係省庁</p>	<p>国土交通省</p>
	<p>実施年度</p>	<p>2018～2020</p>
<p>主要協力機関</p>	<p>国土交通省国土地理院 国際建設技術協会</p>	
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	<p>国土地理院webサイト内 International Training Course ページ http://www.gsi.go.jp/ENGLISH/page_e30219.html</p>	